

# 都 退 教 協 だ よ り

No. 266号

2015年6月17日発行

東京都退職教職員協議会 会長 柴田 迪春

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:ttu@tokyokyouso.org

## 戦争は教育から

### 都退協学習会(3/15)の報告と感想

都退協合宿学習会で行われた二つの講演のうち、フォーラム・人権・環境事務局長・藤本泰成氏の講演「憲法改悪・戦争をする国づくり、不平等 すすむ日本崩壊」の概要を紹介し、感想を述べたい。

#### 〈藤本講演の概要〉

①安倍政権は当初96条に基づく国民投票による改憲を試みたが抵抗が大きく、集団的自衛権行使容認を、閣議決定という解釈改憲、立憲主義・法治主義の破壊により行った。

②安倍政権は戦争のできる国づくりの法的整備を急ぐと共に、教育改革(道徳の教科化・日本史必修化・教科書検定制度強化)を



会員各位

### 2015年度第41回定期総会開催通知

2014年6月17日

東京都退職教職員協議会会長 柴田 迪春  
戦争をする国へと大きく舵を切る安倍政権は、「平和安全法制整備法案」という名の戦争準備法を国会に提出しました。連日、国会周辺では戦争法阻止のたたかいが繰り広げられています。

このような事態の中で、私たち高齢者が子や孫に平和を継承し、安心して生活できる社会の実現に向け、下記のとおり都退教協第41回定期総会を開催します。総会に参加された皆さんと膝を交えてじっくり話し合える総会にしたいと考えています。多数の皆様のご出席と活発な討議を期待しておりますので是非ともご参加ください。

記

- 1、日 時 7月1日(水)  
午後2時開会～4時閉会
- 2、会 場 日本教育会館五階 J T U会議室
- 3、議 事 ①2014年度 経過・決算報告  
②2015年度 活動方針・予算案  
③2015年度 役員人事  
④総会宣言  
⑤その他

※閉会后 神保町の中華料理店「三幸園」で懇親会を開催いたします。(会費三千円)

※連絡先 柴田会長 090-6700-7087  
谷口事務局長 090-5202-0117

#### 主な記事

- P1 定期総会開催通知・戦争は教育から  
P2 年金制度改正のあらまし  
P3 私の戦争体験(前田直也)

- P5 金岡先生を悼む(佐久間忠夫)  
P6 戦争させない署名、国会前行動  
P7～ 第41回都退教協総会議案書

通して戦争のできる人づくりを押し進めている。

③「戦争のできる国づくり」を推進する背景には、近代市民社会の到達点である基本的人権を否定したい願望がある。その表現が国家主義を基調とする自民党憲法改正草案であり、下村文科大臣による「教育勅語」（「一旦緩急アレハ義勇公に奉シ」）の評価発言である。この背後に東京裁判・サンランシスコ講和体制を否定する「日本会議」等の存在がある。

④規定が曖昧模糊とし政権の恣意的な判断を許す存立事態の認定、及びそれまでの制限を大きく超える日米防衛協力ガイドラインの見直し（周辺事態の地理的制約の排除や国連決議なしの後方支援等）で集団的自衛権を行使すれば戦争（戦闘）に発展する。韓国はベトナム戦争で5000人、ドイツはアフガン戦争の後方支援で55人の戦死者を出した。

⑤安倍政権が集団的自衛権行使を実現しようとする目的は、アメリカの世界覇権への協力、国連決議に基づき特定の国を武力制裁する集団的安全保障体制への参加、「普通の国」になり安保理入りを実現したい外務省の要請等である。

⑥アメリカの覇権は黄昏を迎え、日本とアジアの結びつきは経済的な側面も含めより緊密になっている。日本の課題は「アメリカとともに黄昏れるか、アジア諸国とともに歩むか」

にある。

⑦若者を中心に大きく広がる所得格差は、富の再配分を人為的に阻害する政策に原因がある。また若者の人権は守られず憲法との距離が広がっている。これらの格差・距離を縮めなければならない。

### 〈感想〉

今日の危機的状況を前に、藤本氏は「今や（安倍事項政権に反対する勢力・組織は）内輪もめをしている状況ではない」と指摘した。一昨年講演でも大西広・京大名誉教授は「日本の労働者は、労働運動の分裂の問題を克服し『国民戦線』を構築する必要があるのではないか」と指摘、さらに昨年講演でも沖縄県知事選を前に基地反対闘争の先頭に立つ安次富浩氏は「しっかりした統一候補を持ち、政策の細かいすり合わせをするのでなく、保守層とも統一戦線を組むという太っ腹で行くことが必要」と指摘している。どの講師の指摘も根底では同じである。

安倍政権の軍国主義的強権国家作りを阻止するために、政党、労働組合、退職者、市民運動のそれぞれの組織が、自らの組織や運動の現状に自足しバラバラに闘うのではなく、互いに共同した一つの政治的な力として国政選挙等を闘うことなしに道は開けないという感想を持った。

## 年金制度が変わります！（2015年10月1日～） 制度改正のポイントを、シリーズでお知らせしていきます。

### 第1回 制度改正のあらまし

私たちの年金制度は「共済年金」でしたが、厚生年金と統合されることになりました。これを「被用者年金一元化」をいいます。被用者とは、私たち公務員や民間企業で働く労働

者のことです。厚生年金と共済年金は、基本的な仕組みは同じですが、制度に違いがあり、その違いは、厚生年金に揃えて解消されます。

## 制度改正の全体像

現在の年金制度		10月1日からの制度	
職域年金相当部分	→	*旧職域年金相当部分	年金払い退職給付
共済年金（厚生年金相当部分）		厚生年金	
国民年金（基礎年金）		国民年金（基礎年金）	

上の図でわかる通り、国家公務員も地方公務員も厚生年金に加入することになり、年金の「2階部分」は、厚生年金に統合されます。公務員は、厚生年金の「第2号厚生年金被保険者」という区分になります。名称は厚生年金ですが、年金記録の管理や年金の支給を行

うのは今までどおり共済組合です。

共済年金と厚生年金が統一されるとどこが変わる？

年金の一元化で、変わるポイントをまとめると次のようになります。

	主要内容
1	共済年金の保険料率の引き上げ 既に毎年0.354%ずつ引き上げられている。2018年には厚生年金と同じ18.3%まで、引き上げられる。
2	共済年金と厚生年金の制度的な差異を厚生年金に揃える ①退職後に働きながら年金をもらう「在職退職共済年金」の見直し →今後のシリーズで詳しく説明します。 ②「遺族共済年金の転給制度」の廃止 →特殊な制度で、通常ほとんどありません。
3	年金支給開始年齢の引き上げは、そのまま 昭和36年の4月2日以後に生まれた人は、65歳からの支給となる。 →厚生年金は、女子については引き上げを5年間送らせているが、共済組合員は、男女とも同じ
4	公的年金としての「職域加算」（3階部分）は廃止され、「年金払い退職給付」に移行する。 *これまで積立てきた部分については、経過措置として支給される。
5	保険料と年金額の算定基準が「標準報酬制」に移行する →次回、詳しく説明します。

今年度末に退職となる方や既に退職して再任用・非常勤教員をされている方は、2の①が重要なポイントです。在職中の方々は、5の

「標準報酬制」への移行が知っておくべきポイントです。こうした点について、次回にお知らせします。

## 私の戦争体験

前田直也 1933.12.10 生

太平洋戦争が始まったのは私が小学校2年生の時でした。戦争に勝つためには子どもから大人まで国民みんなが我慢しなければと、

食べるものも着るものもそれはひどいものでした。

5年生になった頃、それまで勝ち続けてい

た日本はどんどん負け続けて来ました。

学校では4年生から軍事訓練が行われました。どんな寒い日でも「気を付け」の姿勢で、手の先が曲がっていると叩かれました。辛かったのは、毎日昼食前の行進練習でした。上半身裸になってクラスごとに6列縦隊で運動場を歩くのですが、手の振りが悪いとか、頭が揺れているとか、脚が揃っていないとかがあると最後まで歩かされて弁当を食べる時間が遅くなり、遊ぶ時間がなくなることでした。音楽の時間は戦争の歌の練習がほとんどでした。また、音を聞き分ける練習は飛行機の爆音を聞き分けることでした。また、この時から修学旅行が無くなりました。

小学校6年生の6月23日、(その頃、日本は負け続け、沖縄もアメリカ軍の支配下になり、東京はじめ日本各地がアメリカの爆撃にあっていました)初めてアメリカのB29爆撃機が私たちの街に爆弾を落としました。

学校から帰って間もなく警戒警報が鳴り、飛行機が1機上空にやってきました。その後、大きな爆音が沢山聞こえて来るのと空襲警報が鳴るのが同時でした。

「敵機だ！逃げろ！」という声をあとに近くの宝蔵院の前にある防空壕に飛び込むと同時に「ドドーン」と地面と身体中が飛び上がらんばかりに揺れ動いたのです。爆弾が落ちて来たんです。次々と聞こえて来る爆音の中に「ヒューン」「ザーッ」と夕立の雨が落ちて来るような音がして、続いて「ドドーン」と大地を揺るがすような振動と爆風が身体を揺りうごかします。口から爆風が入り込み、胸を中から押し出すような吐き気を催します。繰り返し繰り返し、音と振動と爆風がやって来るのです。真っ暗な防空壕の隅から「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えるお婆さんの声が聞こえて来ます。「ザーッ」と音が聞こえるたびに「ああ、これでもう死ぬ」と何度思ったでしょう。

少しの間、爆音が聞こえなくなった時に母が田舎の方へ逃げろと言いました。南の方に向かって必死に走りました。道には真っ赤に

焼けた爆弾の破片があちこちに落ちています。500mほど走ったとき、「敵機だ！」という声が聞こえました。すぐ側にあったガソリンスタンドの防空壕の一番奥に飛び込みました。後から入って来たガソリンスタンドのお婆さんが「ここはうちの防空壕やから入ったらあかん。出て行け」とどなります。そんなことを聞いていたら命などありません。

「空襲警報解除」という声が聞こえて来ました。やっと防空壕から出て周りを見ると、熱い尖った爆弾の破片が周りに一杯落ちていました。その破片の一片でも私に当たっていたら今の私は無かったですでしょう。

家や母や姉がどうなったか心配で走って家に戻って来ました。家は立っていました。しかし家中の硝子は外も内も全部割れ、座敷の真ん中に直径40cmほどの大きな石が屋根を突き抜けて落ちていました。屋根瓦はほとんど壊れ、畳の上は土だらけでした。

誰も帰ってないので心配していたら、しばらくして母と姉が帰って来ました。

母と姉は逃げる前に炊事道具を燃えないように井戸の中に投げ込んで逃げたそうです。途中で敵機が来たので国道の下の小川が流れているトンネルに入り、腰まで水に浸かりながら隠れていたそうです。

もう家に住めないで田舎へ行くことになり、おじいさんが迎えに来てくれました。

荷物をリヤカーに積んで田舎へ行く途中、すぐ近くの飛行機工場の側を通りました。その工場は昔は毛織物を作っていた工場でしたが、戦争が激しくなってから「飛竜」という戦闘爆撃機を作っていたのです。爆撃で工場の塀はなくなり、そのあたりには直径20mもの大きな穴があいて、死体や手や足がバラバラに転がり、周りはまだ火が燃えていました。壊れた飛行機がいくつもありません。

田舎へ行ったので小学校も転校しました。それから1週間ほど立ってからのことです。7月3日の夜。空襲警報が発令されました。外に出てみると姫路の街の空が真っ赤になっています。その遙か上空をB29の編隊がピン

夕色に輝いて悠々と飛んでいます。焼夷弾が次々と落ちて来ます。まるで花火のように何千何万という焼夷弾が姫路の市街に落ちて行くのです。怖くなって頭に敷蒲団を載せて空を眺めていました。

翌日、村の人たちが学校に集まり炊き出しをしました。私たち小学生もリヤカーでおにぎりを運びました。約4kmの道を数人で運び、街に入って行くと驚いたことに姫路城を残して駅の方まで全部家が無くなっているのです。わずかに鉄筋の建物が残っているだけで、まだ燃えている家もありました。不発の焼夷弾があちこちに転がっています。

つい先日のことを考えると、燃え盛る火の中を逃げた人たちはどんなに恐ろしかったろうと身がちじむ思いでした。

8月6日、9日、広島と長崎に原爆が落と

され、15日に戦争が終わった時の気持は戦争に負けたんだという何となく気が抜けた感じと同時に、もう、あんな恐ろしい目に遭わなくてもよいという嬉しさで一杯でした。

戦争が終わってからの数年間は、食べるものもない苦しい時代が続きます。でも、あの戦争の恐ろしさだけは決して忘れることは出来ません。死ぬまで忘れないでしょう。

「平和」は素晴らしいです。

(後記)

姫路の街は3年後には復活しました。人々の生活も貧しいながらも活気に満ちていました。周辺の農村、山々、海は健在でしたから。街には放射能は無かったからです。

放射能で帰れない人々のことに思いを馳せます。原発稼働は戦争に勝る犯罪です。

## 金岡先生を悼む

佐久間忠夫

昨年11月、私たち世田谷教組OB会で金岡先生の米寿の祝いを行った。

その時は、元気に‘74春闘全一日ストライキの闘いを誇らしげに回顧され、親しく杯を交し合ったばかりである。

その後、暮れに長年介護されていた奥様を亡くされ、後を追うように他界された。訃報には啞然とするばかりだった。本当にあつという間の出来事で、未だに私も気持ちの整理ができない。

金岡先生には、世田谷の中で皆、委員長と呼ぶ。当然だ。名委員長だった。信頼も厚い。ただ私は、委員長とは呼ばない。一回り以上も年上の大先輩だが“同志”であり、あくまでも“先生”がふさわしい。

1967年(昭和42年)今から48年前、同時に世教組の執行委員として執行部入りした。その後、両副委員長として内田委員長(当時)、対馬書記長(当時)を支え、世教組の基盤安定のために文字通り心血を注いだ。金岡先生は、体育会系、熟年女子、管理職層対策、私は青年、女性層対策で360日執行委員募集・説得・当該分会対策に追われた。何しろ、毎年26名の執行委員候補を揃えるのが至上命題だ。その意味で、この時代の共通の苦労は、忘れられないし、又財産であった。戦友である。

お蔭で、世教組執行部の安定と組合員2000名超を得ることができた。“共に闘った”という充実感は、未だ消えることがない。

金岡先生は、自らにも他にも厳しかったが、無類の麻雀好きであり、ドライブを好むスタイルでもあった。誰からも愛された。

いずれ私も場所を代えて、一献、飲み交わすことになるだろう。

合掌

## 戦争をさせない全国署名187筆集まる！

ご協力ありがとうございます。

**引き続き署名活動、国会前行動にご協力ください。**

前号に同封いたしました「集団的自衛権」行使容認の閣議決定の即時撤回を！戦争をさせない全国署名は、5月31日現在187筆の署名が集まりました。

「戦争をさせない1000人委員会」を通じて総理大臣、衆参両議院議長に送付されます。

国会には連日「戦争法案」に反対する人びとが抗議の声をあげる中、安倍政権は会期を延長してでも「戦争法案」の成立を狙っています。報道でも明らかのように、与野党が推薦する憲法学者全員が「集団的自衛権」行使容認は憲法違反と断言し、「戦争法案」が違憲であることは衆目の一致するところになっています。すぐに廃案にすべきです。

引き続き、署名にご協力いただくとともに、国会前の首魁にも積極的にご参加下さるようお願いいたします。

### 《当面の「戦争をさせない」国会前行動》

**6月15日(月)～19日(金)、  
22日(月)～24日(水)10:00～17:00**  
場所：衆議院第2議員会館前、  
※都合のつく時間で結構です。「日退教」の旗を目印にしてください。

**6月23日(火)18:30～**  
戦争への道をゆるさない6.23東京集会  
場所：日比谷野外音楽堂  
主催：戦争をさせない1000人委員会

**6月18日(木)18:30～20:00**  
戦争法案反対国会前集会(連続行動第5回)  
場所：衆議院第2議員会館前

**6月24日(水)10:00～**  
戦争法案反対・国会前連続座り込み行動  
場所：衆議院第2議員会館前

**6月24日(水)18:30～20:00**  
戦争法案反対全国大集会  
国会周辺座り込み



2014年度経過報告（案）

昨年今日、自公政権は、集団的自衛権行使容認の閣議決定（2014/7/1）を強行しました。この閣議決定は、憲法・民主主義・国会を無視し、戦争への道を歩む歴史の転換点を記したと言わざるを得ません。国家安全保障会議の創設、特定秘密保護法制定に続く解釈改憲による閣議決定は、その後の日米新ガイドライン、TPP交渉、安部首相訪米によって、国会を無視したまま経済的にも軍事的にもアメリカの属国へと突き進んでいます。今後、シーレーン防衛、多国籍企業の海外権益保護、対中国包囲網の形成をはかり、「戦争のできる国づくり」を狙うものにほかなりません。また、辺野古・高江に新たに米軍基地の建設を強行するなど沖縄の民意を無視した対米従属政策をすすめています。

一方、安倍政権と日銀は、「異次元」（巨額）の金融緩和による円安で輸出企業の収益を上げようとするアベノミクスをすすめ、公的年金積立金（GPIF）まで株式投資を拡大させています。その結果、大企業・投資家だけの景気回復を招き、私たち年金生活者には全く実感できるものにはなっていません。結局円安で格差が拡大したことだけの結果であり、アベノミクスは「失敗」以前の「間違い」だったことが明らかになっています。また今回の訪米時のシンポジウムで、「経済を成長させ、防衛費を増やしていく」とスピーチするなどアベノミクスが日米軍事同盟と表裏一体であることを表明しました。

日本の65歳以上の高齢者人口は過去最高の3,190万人（2013/10/1）で、高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は過去最高の25.1%（前年24.1%）です。75歳以上は1,560万人（12.3%）です。一方「15～64歳人口」（生産年齢人口）は7,901万人で32年ぶりに8,000万人を下回りました。2060年には高齢化率は39.9%に達し、2.5人に1人が65歳以

上、75歳以上人口が総人口の26.9%となり4人に1人が75歳以上になると推定されています。こうした中、高齢者関係給付費は2011年度には72兆1,940億円となり過去最高となっています。しかし、安倍政権は、年金のマクロ経済スライド導入や介護保険、医療制度の後退など、高齢者の負担増と高齢者福祉削減政策をすすめています。

東日本大震災から4年が過ぎました。今もなお避難生活者は約22万9千人、被災3県では恒久的な住まいとなる災害公営住宅の完成は15%にとどまっています。

福島第1原発事故の収束の見通しが立たず、汚染水の漏洩など事故は拡大しているといっても過言ではありません。しかし、全国各地の原発が、再び安全神話の中で、再稼働を予定し政府はインド、ベトナムなどへの原発輸出を推進しています。再稼働差し止めを求める仮処分の申し立てに対する地裁判決が福井地裁（4月14日）と鹿児島地裁（4月22日）でありましたが、再稼働を認めない判決と仮処分を棄却する判決に、裁判所の判断が分かれました。

危険性や後始末できない上に、国民負担をさらに増す原発の再稼働・原発輸出を成長政策の要としてすすめる安倍政権の経済政策・エネルギー政策には、市民の意志にも、市民の安全にも、「いのち」にも、何ら配慮されていません。

1. 組織強化の取り組み

退職者への加入呼びかけ文の送付により12人が加入（今年度は現在3名）した一方、退会者は亡くなった方を含め10人を数え会員数は横ばいです。都退女教とは、介護保険の学習会を共催で行うなど、組織合同に進展はありませんが、協働の行動を積み重ね退職者全体の組織拡大にとりくみました。

## 2. 憲法改悪阻止・平和を守る取り組み

安倍政権の戦争ができる国づくり、戦争法案の上程に対して、「戦争をさせない1000人委員会」や「平和憲法を守る東京ネット」の集会に参加し、「5・3憲法集会」や国会前座り込み行動や各種学習会に参加しました。

## 3. 脱原発社会実現・東日本大震災からの復興への取り組み

福島第一原発事故は事故原因究明も含め事態収束には程遠いにもかかわらず、政府は再稼働や原発輸出など命より経済の優先を露骨に進めています。

一方、震災被災地の復興は依然として進んでいません。日退教を中心に支援活動を続け、脱原発集会・学習会参加などの取り組みすすめました。

## 4. 後期高齢者医療制度廃止・社会保障充実の取り組み

「給付の重点化・効率化」を名目に介護保険制度が改悪され、要支援の地方自治体移管による自治体格差と給付抑制と負担増が必至です。各自治体への働きかけ、アンケート実施など具体的に医療・福祉制度の後退に歯止めをかけるために学習会を実施しました。

## 5. 年金制度に対する取り組み

マクロ経済スライド制の適用など年金削減が本格的に始まりました。年金基金の株式投

資大幅拡大など年金財源もアベノミクスの餌食にされようとしています。高退連、日退教のとりくみに参加し年金制度改悪にとりくみました。

## 6. 税制に対する取り組み

10%消費増税は先延ばしにされたものの、8%増税分は、全てが社会保障に充てられず、法人税大幅軽減や公共事業等に充てられています。累進課税を強化し富の再配分による低所得者対策を求め取り組みを進めました。

## 7. 公務員制度改革に対する取り組み

労働基本権も与えないまま、本給の引き下げ・退職金削減が財政削減の名のもとに行われています。現退一体となって、これらの公務員攻撃に反対し公共サービスの確立の取り組みを進めました。

## 8. 「君が代」処分撤回の取り組み

『「君が代」処分撤回を求める会』の裁判闘争に可能な限り参加し、支援活動を行いました。安倍政権の企む教科書採択制度・道徳の教科化などに反対する取り組みを進めました。

## 9. 「朝鮮高級学校授業料無償化」に対する取り組み

各種集会への参加、朝鮮学校へのカンパなどを通して、「無償化」を求める行動を行ってきました。

## 2014年度業務日誌

2014年7月～2015年6月

7月 2日(水)都退教協第40回定期総会(日本教育会館)

7月 29日(火)東水労退職者会総会(全水道会館)柴田

7月 31日(金)都退協幹事会

7月 31日(金)「戦争をさせない1000人委員会」7.31集会、谷口、安部

8月 2日(金)都退協総会

9月 4日(木)「戦争をさせない1000人委員会」総がかり集会(日比谷野外音楽堂)

藤崎、谷口、柴田、松下、安部

9月14日(日)地公3単産高齢者集会(日本教育会館ホール)柴田、秋元、安部、遠藤

9月15日(月)9.15全国高齢者集会(日比谷公会堂)藤崎、谷口、柴田

9月23日(火)「川内原発再稼働するな!フクシマを忘れない!さよなら原発・全国集会&大行進」亀戸中央公園

9月24日(水)日退教関東地区組織活動交流集会(ラポール日教済)柴田、谷口

10月9日(木)東京高退連総会(田町交通会館)柴田、谷口、安部

10月16日(木)五者合同学習会(ラポール日教済)柴田

10月17日(金)日退教組織活動交流集会(ラポール日教済)柴田・谷口・藤崎

10月18日(土)平和憲法を守る東京ネット総会(全水道会館)安部

10月31日(金)狭山集会(日比谷野音)柴田

10月20日(月)東京都職員物故者追悼式(多磨霊園)柴田

11月7日(金)都退教協・秋の交流会(井の頭公園)安部、金岡、柴田、柴田(悦)、杉野、谷口、別所

11月11日(火)戦争をさせない国会包囲総がかり行動、柴田、谷口、城田、藤崎

11月12日(水)労働者派遣法反対国会前行動、柴田

11月28日(金)沖縄と連帯する東京集会(田町交通ビル)柴田・谷口

1月25日(日)国会包囲ヒューマンチェーン

辺野古に基地はつくらせないー谷口

1月28日~29日 地公退学習会(箱根開雲)柴田、松下

2月13日(金)東京高退連学習会(田町交通ビル)柴田・安部・谷口・秋元

2月26日(木)戦争をさせない1000人委員会院内集会(衆議院議員会館)柴田

3月15日(日)~16日(月)都退協合宿学習会(箱根)柴田・安部・松下・谷口

4月3日(金)都退教協・都高退教済「お花見交流会」(飛鳥山公園)秋元、安部、柴田、柴田(悦)、及川、谷口、高5名。

4月29日(水)メーデー(代々木公園)柴田、安部、谷口、城田、秋元、藤崎、飛田、有賀、藤崎(み)、加藤(ケ)、浅川、中村(光)

5月3日(日)5.3憲法集会(横浜みなとみらい・臨港パーク)柴田、安部、谷口、藤崎、鎌田(勝)、有賀、飛田、中村(登)

5月14日(木)政策要求実現街頭宣伝(巣鴨駅前)安部、秋元

5月18日(月)「戦後70年」問題特別講演会 村山富一講演(全水道会館)谷口、柴田、長谷川

5月26日(火)低所得高齢単身女性問題学習会(総評会館・退職者連合)谷口、柴田(悦)

6月9日(火)日退教定期総会(日本教育会館)柴田・谷口

※この他隔月に役員会と三役会を開催。日退教役員会・専門部会、東京高退連幹事会、都退協幹事会等は省略しました。



## 都退教協 2014 年度決算報告

収入の部 (単位 円)				
項 目	予算額	決算額	増 減	内 容
年会費	400,000	406,000	△6,000	2,000×200名
雑収入	75,000	94,544	△19,544	日退教、他
繰越金	55,421	55,421	0	
合 計	530,421	555,965	△25,544	

支出の部 (単位 円)				
項 目	予算額	決算額	増 減	内 容
会議費	18,000	0	18,000	定期総会・関ブロ総会
行動費	200,000	203,148	△3,148	動員費補助・役員会
事業費	180,000	156,177	23,823	会報印刷発送・事務費
分担金	89,315	87,324	1,991	日退教・都退協・関ブロ
雑 費	43,106	61,292	△18,186	慶弔・振込手数料
合 計	530,421	507,941	22,480	
差引残高	0	48,024		

### 都退教協 2015 年度予算 (案)

収入の部 (単位 円)				
項 目	15 年度予算	14 年度予算	増 減	内 容
年会費	400,000	400,000	0	2,000×200名
雑収入	75,000	75,000	0	
繰越金	48,024	55,421	△7,397	
合 計	523,024	530,421	△7,397	
支出の部 (単位 円)				
項 目	15 年度予算	14 年度予算	増 減	内 容
会議費	18,000	18,000	0	定期総会・関ブロ総会
行動費	210,000	200,000	10,000	動員費補助・役員会
事業費	170,000	180,000	△10,000	会報印刷発送・事務費
分担金	89,315	89,315	0	日退教・都退協・関ブロ
雑 費	35,709	43,106	△5,397	慶弔・振込手数料
合 計	523,024	530,421	△5,397	
差引残高	0	0		

#### 2014 年度カンパ会計 (特別会計)

カンパ収入	支出	残額	摘要
161,580	1,751	159,829	戦争させない署名返信郵送料

※日退教の震災支援、沖縄支援、戦争反対カンパにも今年度支出する予定です。

## 2015 年度 活動方針（案）

はじめに

昨年7月安倍内閣は憲法を無視して、日本国が「法治国家」であることを自ら否定しました。「集団的自衛権の行使容認」を「法的手続き」なしに「閣議決定」しからです。

安倍自公政権の「法治国家」としてあるまじきこうした行為は、断じて許しがたい事態です。しかも、まだ審議されない関連法案を安倍首相が「夏までに成立させる」と、アメリカ議会で「約束」したことは、日本における議会制民主主義を全否定する行為です。

衆参両院で与党が多数を有しているのだから「何をしてもいいのだ」というのであれば、議会の存在そのものが否定されることとなります。

「集団的自衛権行使」は、「一切の戦争を放棄する」としている憲法の決まりを覆し、日本国を「戦争する国」にすることです。それは、地球上どこでも、日本自衛隊の武力行使を可能にすることです。他国に武力行使すれば、当然報復があります。戦後70年間の平和は、他国に対する武力行使がなかったからこそ保たれてきたのです。

他方、私たちにとって不可欠の医療・介護・年金等に関し、政府は医療費・介護保険料の値上げと「要支援」の自治体丸投げなど、数々の制度改悪を強行しながら、課税を強化し、実質受給年金額が目減りされています。今年度福祉予算でも3600億円を減額し、同額の防衛費をオスプレイ購入に充てています。

「アベノミックス」の株価つり上げ用に、私たちの「年金積立金」の運用により、100兆円規模でリスクの高い外国債券・株式の購入割合を増やしています。

また、自公政権は、教育委員会制度改悪や教科書検定と採用等への過剰な介入、加えて教員免許の国による一元化など、教育の中央集権化・国家統制化を強化しています。また、

「派遣法」を始めとする「労働法制」改悪により、一層の格差拡大が懸念されます。

原発問題は、川内原発の再稼働を進める一方、最優先されるべき被害者の救済・保障は後回しにされ、高濃度の放射線量を示している「前居住地」に住民を戻そうとする施策がとられ、自公政権の施策は「棄民」以外の何物でもありません。現地は原発の爆発状況そのものも十分把握できず、汚染水が海に垂れ流され、廃炉の見通しも立てられないのが実態です。

民意を全く無視した沖縄米軍基地問題に対する政府の「辺野古新基地」建設は阻止する以外にありません。

以上、私たちには決して望ましい状況、環境ではありませんが、私たちも含めた社会的弱者が暮らしやすい世の中に一步でも近づきましょう、できるところから運動を進めていきましょう。

以下、具体的な取り組みを提案します。

一、組織を強化・拡大していきます。

会員相互の交流・親睦・情報交換をより密にします。また、未加入の退職者に加入を呼びかけ、一人でも多くの人と手を携えて運動に取り組みます。

二、「集団的自衛権行使法案」成立阻止に向け、全力で取り組みます。「解釈改憲」による軍事国家化を許さない取り組みを進めます。

三、脱原発社会の実現を進めます。原発再稼働を許さず、エネルギー政策を転換させる取り組みを進めます。

四、社会保障をより充実させます。より充実した高齢者を始めとする社会保障制度確立に

向け、都退協、日退教、高退連に結集して取り組みます。

五、公務員賃金切り下げに反対します。公務員賃金の切り下げが年金削減に波及することから、これに反対します。

六、「日の君」処分を撤回させます。不当に処分された教職員への支援と裁判闘争に参加します。

七、朝鮮高級学校授業料無償化」を実現させます。都退協を始め多くの団体と連帯し、ヘイトクライムからの解放を目指します。

八、平和を守る取り組みを進めます。平和憲法の実態化、米軍基地撤去などを、他と連帯して進めます。

九、国会行動などの諸行動に取り組みます。国会前座り込み、各種集会への会員参加を進めます。

### 編集後記

\* 今号から横書き（A4版）で「都退教協だより」を作ってみました。文字も一回り大きくしてみました。いかがでしょうか。読みにくいようでしたら、次号から従来の縦書きに戻したいと思います。皆様のご意見をお寄せください。

\* 会費の納入、カンパへのご協力ありがとうございました。まだ納入されていない方のご協力をよろしくお願いいたします。会計報告にございますように、カンパは161,580円集まりました。署名の返信郵送費のほかに、日退教の震災支援、沖縄支援、戦争反対カンパにも今年度支出する予定です。

\* 都退教協のホームページは、東京教組のホームページの中にあります。「東京教組・検索」で見ることができます。ご覧になってください。また、ご意見ご要望を電話・Fax・メールなどでお寄せくだされば幸いです。電話番号、アドレスは表紙に記載してあります。

(谷口 記)